

第1回別海町自治推進委員会 概要

開催日時：平成30年10月29日（月）午後1時30分から午後2時15分まで

開催場所：別海町役場 1階 103・104会議室

出席委員：佐藤英敏、北澤真由美、武田隆、高橋智美、吉野朋博、大森和男、佐藤栄子
（欠席委員 押田栄司、大橋正汰、森重直治）

<会議次第>

- 1 開 会
- 2 昨年度のふりかえり
- 3 議 事
議題1 平成29年度別海町自治基本条例運用状況報告書について
議題2 次回以降の開催内容についての協議
- 4 閉 会

1 開 会

2 昨年度のふりかえり

資料1を用い、昨年度の開催内容についてふりかえり

3 議 事

議題1 平成29年度別海町自治基本条例運用状況報告書について

資料2を用い、自治基本条例第14条に定める町民参加について現状を説明。

意見・質問

委員

急には意見が思いつかないので資料は事前にいただきたい。

事務局

次回以降は事前に確認していただけるよう開催の一週間前には資料を送付いたしたい。

委員

アンケート調査について、食育・地産地消に関するアンケートが90%と高い回収率ですが、児童生徒に出したアンケートだからか

事務局

学校を通した形になりますので回収率があがっています。

議題2 次回以降の開催内容についての協議

資料3を用い、次回以降の協議に向け、前段として以前に提出した意見書についての内容と現状を説明。

意見・質問

委員

昨日の新聞で、議会の改革について、芽室町、栗山町が力を入れていて、町民にとっても議会運営がわかりやすい、別海町においても、町長と話す会ですとか議会報告会ですとか町民にいただいた話を現地まで行って話されていて、研修も重ねてきた中で同じようなことをやられているのかなど、新聞を見て思いました。

あとは手法だと思います。やはり私たち町民が、その話を聞いて本当に話しやすい環境をいかに作るかということが大事だと思いますし、ある程度絞って意見を出しやすいような環境を作ることが改革に繋がっていくのではないかと思います。ただやっただけでは形だけで改革には繋がっていかないと思います。研修等行っていると思いますが、そういう部分を見てきて、議員の方に或いは担当の方において町民に詳しく発信・報告していけるような体制づくりを是非やっていただきたい。

たとえば議会報告会とかは全体会議を開いて、その後にテーマごとに分かれて分科会をやりました。一つの改善だったと思います。

もっと距離感を近づけて町民に気楽に話ができるような環境づくりといえますか、なかなか意見を述べられない人もいます。例えば、議会報告会とは別に、議員二人ずつ、事務局担当一人つけて三名くらいで各地区を計画的に回って、挨拶抜きで雑談程度の入り方でやっていくということも、雑談をしていくうちに、こういうことがあったということも町民の方から出てきますから、こういったことの方が町民にとってみれば話しやすいのではないかと。町長、議員の方から堅苦しい話をされたら、話ができないというふうになりますから、身になるような進め方というのを求めています。

事務局

少人数、10名程度のイメージですか。

委員

そうですね。担当者も構えずに、分からなければ分からないで持ち帰って回答しますで、あとで回答をいただければ文句は言わないと思います。

検討しますではなく、口頭でも良いが出来れば文書で回答する形の方が良いかなと思います。

委員

ちなみにミルクミーティングとか昔からやっていますが年間何回くらいやっていますか。

事務局

年間ですと1件、2件あるかないかで無い年度もあります。ミルクミーティング等につきましては各団体からの申し込みによって実施されるものですから、まちづくり懇談会の敷居を落として各団体の会合の場に出向くなど、広聴制度全体見た中で検討していかなければと感じます。

今年度につきましては7地区を回りまして意見を聞いたところですけれども、大きな話ではなく

小さな話の中で懇談の場を設けていきたいと考えています。

委員

町長と話す会ですとか議会報告会ですとか、今までやってきた部分は、それはそれで継続してやっていただきたい。

事務局

次回、広聴制度について、たたき台として何点か出させていただいて、次回の会議にもこの話題を出させていただけたらと思いますがよろしいですか。

委員

この話題につきましては、たたき台を提示していただくということで。
他に意見はございませんか。

事務局

今回は12月上旬の開催を予定していますので、何か気づいた点や話し合いたい点がありましたら11月中ぐらいまでに電話・FAX等でご意見をいただけたらと思います。

4 閉会